

完了後の評価個表

整理番号	14-1
------	------

事業名	(フォレストコミュニティ総合整備事業) 森林居住環境整備事業	都道府県	徳島県
ふりがな 地域(地区)名	みまぐんとうぶ 美馬郡東部	事業実施主体	徳島県
関係市町村	美馬市(旧穴吹町、旧木屋平村)	管理主体	美馬市(旧穴吹町、旧木屋平村)
事業実施期間	H14～H18(5年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	① 位置等 当地区は、徳島県の中央部に位置し、吉野川支流穴吹川沿いに南北に広がっている。東側は吉野川市及び神山町、西側はつるぎ町、南側は那賀町、北側は香川県三木市に挟まれ背後には剣山を控えており、豊富な雨量と肥沃な土壌により古くから豊富な森林資源を利用した、徳島県内でも有数の林業地帯である。 ② 森林の状況 当地区の森林面積は28,995haで、そのうち人工林が15,609haで53.8%を占めており、間伐等の森林整備が必要となる3齢級(15年生)から8齢級(40年生)の森林が4,226haで27.1%を占めている。 また、地区内の森林のうち、水源涵養保安林6,335ha、土砂流出防備保安林2,409haに指定されており、適正な森林整備による森林の公益的機能の高度発揮が期待される。 ③ 当地区の整備する目的・意義 当地区においては、これまでに15,609haの人工林が造成され、森林の蓄積は着実に増加している。そのうち9齢級(45年生)以上が11,127haを占めており、成熟期に達した林分が豊富にあることがわかる。 しかし、当該地域には、小規模林家数が多く(私有林面積27,206haのうち15,035haが10ha未満の所有者)この零細・分散化した所有形態が、森林整備を推進する上で弱点となっていた。 このため、森林の公益的機能の高度発揮等を目的として、森林整備が必要な森林への到達時間の短縮、労働力や資材の効率的な移動等により、林業労働の軽減及び森林施業コストの低減を図り、併せて施業の協同化及び高性能林業機械の導入による組織的・計画的な団地施業を推進して、森林整備の効率化・森林の多目的な機能を有効に利用を図るため林道を整備したものである。 (事業概要) 森林基幹道整備 ① 田野内杖立線 車道幅員 3.0m 開設延長 2,626m 利用区域面積 1,207ha ② 高越二戸線 車道幅員 3.0m 開設延長 1,004m 利用区域面積 1,123ha ③ 木屋平木沢線 車道幅員 3.0m 開設延長 1,748m 利用区域面積 1,536ha ④ 梶山内田線 車道幅員 3.0m 開設延長 967m 利用区域面積 1,428ha 総事業費 1,832,000千円 (当初総事業費 2,700,000千円)
----------	--

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	平成24年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 コスト削減により事業費を削減し、当初計画から開設延長(1,085m)が延伸された。 総便益(B) 4,614,028千円 (事業採択時 4,437,454千円) 総費用(C) 3,388,249千円 (事業採択時 2,700,000千円) 分析結果(B/C) 1.36 (事業採択時 1.64)
② 事業効果の発現状況	林道整備により、施業地までの到達時間の短縮及び作業コストの軽減が図られ、整備前5年間の森林整備面積443.0haに対し、整備後5年間で526.1ha(1.2倍)に増加した。 林道開設により、利用区域内の間伐・保育作業及び適期を迎えた主伐がなされ、平成23年度までに森林基幹道5路線で2,282haが実施されるなど林業が活性化された。
③ 事業により整備された施設の管理状況	当事業により開設された林道は、美馬市が定めた美馬市林道管理条例に基づき管理されている。 地元住民等による年1回の草刈や側溝掃除等が行われており、維持管理状況はおおむね良好である。
④ 事業実施による環境の変化	林道整備により、森林施業地までの到達時間の短縮等により、林業従事者の労働条件の改善が図られた。また、森林施業が促進され森林所有者の森林経営に対する意欲が向上した。 林道整備による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。

⑤ 社会経済情勢の変化	徳島県では、平成17年度から全国に先駆けて、いち早く高性能林業機械を導入して効率的な搬出間伐等を推進してきた。 今回の5路線の林道整備により、大型車両での運搬が可能となったため、作業コストの低減により生産性の向上が図られた。
⑥ 今後の課題等	森林施業の実施に対する意欲が徐々に増進されてきているが、木材価格の低迷等により間伐等の実施状況が十分とは言えない状況である。今後、当該事業により整備した林道5路線から、林業専用道や作業道の路網整備を積極的に進めるとともに、施業の集約化・高性能林業機械の導入等により、効率的かつ低コストな施業を推進し、林業生産性の向上を図る必要がある。 ・ 地元の意見： 森林整備事業実施による土砂流出の防止、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与している。森林所有者には森林施業実施の普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施を促進していく。（徳島県） 森林所有者は、林道が整備されたことにより森林施業に対する意欲が向上していることから、施業の集約化・高性能林業機械の導入による効率的かつ低コストな施業について、関係機関と連携し普及啓発等を行い、施業の推進を図りたい。（美馬市）
評価結果	・ 必要性： 森林施業を効率的に行う基盤となる路網の整備や、森林整備の実施による水源涵養や山地災害防止等の公益的機能の高度発揮が求められていることから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備及び林道の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工程・工法で実施しており、事業実施に当たってもコスト縮減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 林道整備により、森林へのアクセスが容易になり、森林整備を実施するコストも縮減されることから、今後も事業効果の発現が見込まれていること。 林道が災害時の迂回路としても機能が期待できること。 以上のことから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林居住環境整備事業

都道府県名: 徳島県

地域(地区)名: みまぐんとうぶちく
美馬郡東部地区

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	2,404,577	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	32,216	
	森林管理等経費縮減便益	2,002	
	森林整備促進便益	2,175,233	
総 便 益 (B)		4,614,028	
総 費 用 (C)		3,388,249	
費用便益比	$B \div C = \frac{4,614,028}{3,388,249} = 1.36$		